

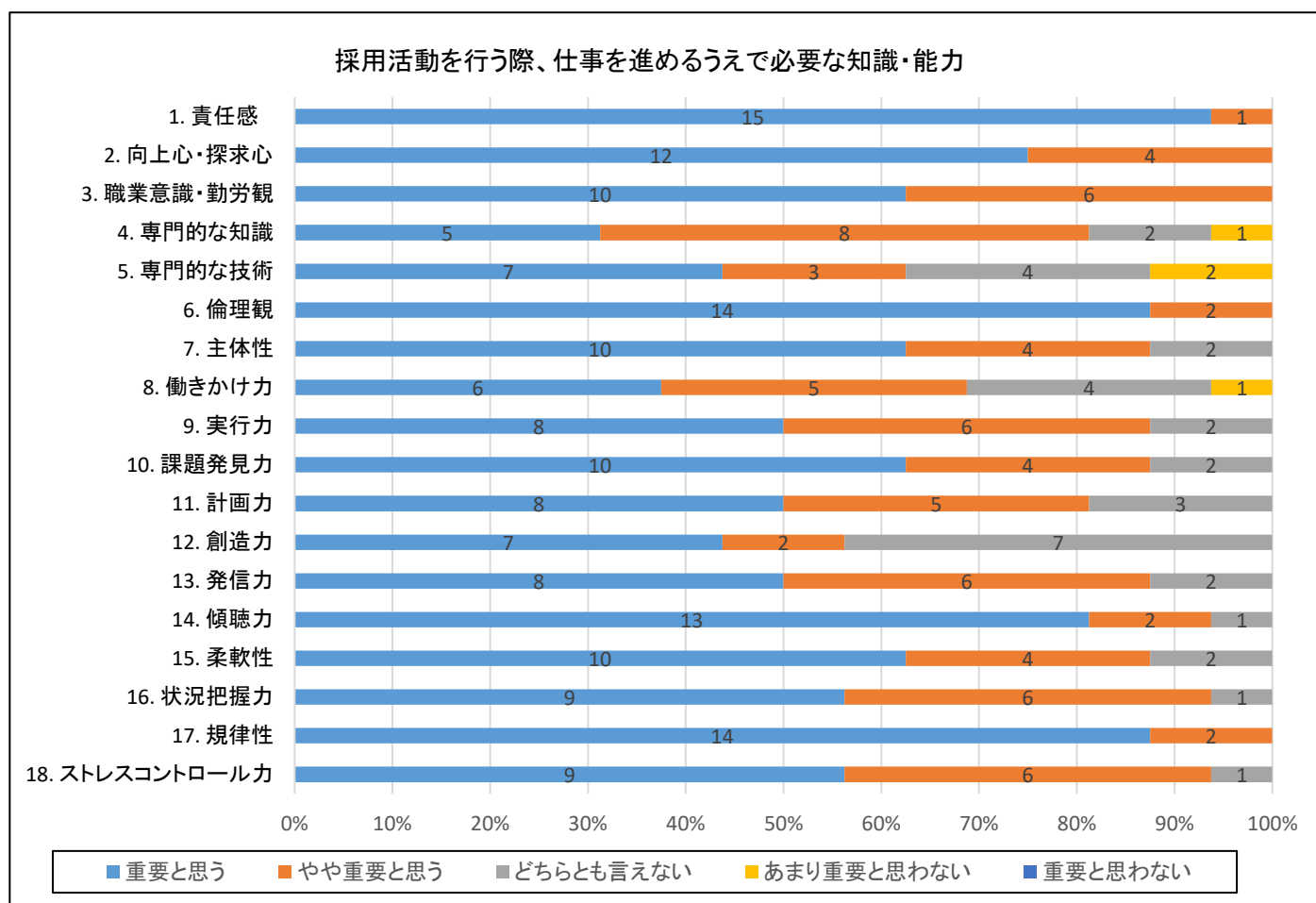
2023年度 就職に係る学修成果に関するアンケート結果

目的：本学の就職先となる施設に対して卒業生の学修成果に関するアンケート調査を行い教育活動の改善に役立てる

対象：本学臨床教授・臨床准教授(30名)  
 調査時期：2023/9/8～9/15(WEB形式)  
 回収率：53.3% (16/30)

採用活動を行う際、仕事を進めるうえでどのような知識・能力が必要だとお考えですか

		重要と思う	やや重要と思う	どちらとも言えない	あまり重要と思わない	重要と思わない
1. 責任感	社会の一員として役割の自覚を持っている	15	1	0	0	0
2. 向上心・探求心	働くことに関心や意欲を持ちながら進んで課題を見つけ、レベルUPを目指すことができる	12	4	0	0	0
3. 職業意識・勤労観	職業や勤労に対する広範な見方考え方を持ち、意欲や態度等で示すことができる	10	6	0	0	0
4. 専門的な知識	リハビリテーション領域における基本的な学力	5	8	2	1	0
5. 専門的な技術	リハビリテーション領域における基本的な技術	7	3	4	2	0
6. 倫理観	専門職として守るべき善悪や是非の判断	14	2	0	0	0
7. 主体性	物事に進んで取り組む力	10	4	2	0	0
8. 働きかけ力	他人に働きかけ巻き込む力	6	5	4	1	0
9. 実行力	目標を設定し確実に行動する力	8	6	2	0	0
10. 課題発見力	現状を分析し目的や課題を明らかにする力	10	4	2	0	0
11. 計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	8	5	3	0	0
12. 創造力	新しい価値を生み出す力	7	2	7	0	0
13. 発信力	自分の意見をわかりやすく伝える力	8	6	2	0	0
14. 傾聴力	相手の意見を丁寧に聴く力	13	2	1	0	0
15. 柔軟性	意見の違いや立場の違いを理解する力	10	4	2	0	0
16. 状況把握力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力	9	6	1	0	0
17. 規律性	社会のルールや人との約束を守る力	14	2	0	0	0
18. ストレスコントロール力	ストレスの発症源に対応する力	9	6	1	0	0



その他コメント:2件

・上記、いずれも重要だと考えます。今後ともよろしくお願いします。

・臨床実習で知識・技術を身につけるのは難しいと思うので、就職してから経験を積み重ねていって貰えれば良いと思います。その経験が身につくには、社会人として最初は新しい環境やプリセプターでの指導内容を柔軟性をもって受け入れる力があるだけで、スムーズに新人時代を過ごせると思います。